

監督研究—清水宏と石田民三

ともすれば映画史から忘れられ、すぐれた作品を創造しながらもその業績が不当に埋もれて行く映画作家があります。抒情と感傷と童心の世界を追求した清水宏、恥美と詠嘆と懷古の世界に傾身した石田民三の両監督は、まさに上述した作家群の代表者ともいえますが、この両氏の作品を通じて溢れ流れる日本的情念は、今日の視点にたっても充分に再評価されるべきものを持っております。

当フィルムセンターでは、今は亡きこの両監督の作風を偲ぶにふさわしい作品を選んで、ここに「監督研究—清水宏と石田民三」を開催することとなりました。ひろく映画愛好者の御利用御鑑賞をおすすめいたします。

1974年8月28日～10月25日

日曜・祝日休館

フィルムセンター

午後3時・6時15分開映

一般 100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製作年	製 作 会 社	出 演
8月28・29日 30日、9月2日 9月3・4日 5・6日 9・10日 11日 12・13日 17日 18・19日 20日 24日 25日 26・27日 30日 10月1・2日 3日 4日 7日	水・木 金・月 火・水 木・金 月・火 水 木・金 火 水・木 金 火 水 木・金 月 火・水 木 金 月	『清水宏監督特集』 不壊の白珠(無声) 大学の若旦那 有りがたうさん 花形選手 風の中の子供 按摩と女 子供の四季 『信子』 みかへりの塔 歌女おぼえ書 『団栗と椎の実(短篇)』 『簪(かんざし)』 サヨンの鐘 蜂の巣の子供たち 小原庄助さん その後の蜂の巣の子供達 大仏さまと子供たち しいのみ学園 次郎物語	1929年 1933年 1936年 1937年 " " " " 1938年 1939年 1940年 " " " " 1941年 " " " " " " " " " " " " 1943年 1948年 1949年 1951年 1952年 1955年 " "	松 竹 " " " " 蜂の巣 プロ 新東宝 清水プロ 蜂の巣グループ 新東宝 " "	八雲恵美子、及川道子、高田稔、新井淳 藤井貢、徳大寺伸、光川京子 上原謙、桑野道子、筑地まゆみ、和田登志子 佐野周二、笠智衆、水戸光子、大山健二 河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、爆弾小僧 高峰三枝子、徳大寺伸、日守新一 河村黎吉、坂本武、葉山正雄、爆弾小僧 記録映画 高峰三枝子、三浦光子、飯田蝶子、岡村文子 笠智衆、日守新一、吉川満子、若水絹子 水谷八重子、藤野秀夫、上原謙、河村黎吉 大塚紀夫、横山準、大山健二、若水絹子 田中絹代、川崎弘子、斎藤達雄、笠智衆 李香蘭、島崎澁、近衛敏明 島村修作、夏木雅子、御庄正一、久保田晋一郎 大河内伝次郎、風見章子、飯田蝶子、田中春男 蜂の巣グループ 岩本豊太、宮内義治、中村貞雄 宇野重吉、花井蘭子、香川京子、島崎雪子 望月優子、大沢幸治、深水藤子、市毛勝之
10月8・9日 11・14日 15・16日 17・18日 21・22日 23・24日 25日	火・水 金・月 火・水 木・金 月・火 水・木 金	『石田民三監督特集』 花火の街 夜の鳩 花ちりぬ むかしの歌 化粧雪 あさぎり軍歌 三尺左五平	1937年 " " 1938年 1939年 1940年 1943年 1944年	J O 東 宝 " " " " " " " " " "	小林重四郎、竹久千恵子、深水藤子、原健作 竹久千恵子、梅園竜子、月形竜之介 花井蘭子、堀越節子、三条利喜枝、水上玲子 花井蘭子、藤尾純、進藤英太郎 山田五十鈴、大川平八郎、伊藤薰、藤原釜足 坂東好太郎、黒川弥太郎、花井蘭子 榎本健一、高峰秀子、黒川弥太郎

土曜特集：映画史上の名作

* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演
8月31日(土)	百万両の壺	日・1935年	山 中 貞 雄	大河内伝次郎、喜代三、沢村国太郎
9月7日(土)	市民ケーン	米・1941年	O. ウエルズ	オーソン・ウェルズ、ジョセフ・コットン
14日(土)	東京物語	日・1953年	小 津 安 二 郎	笠智衆、東山千枝子、原節子、香川京子
21日(土)	ゲームの規則	仏・1939年	J. ルノワール	マルセル・ダリオ、ノラ・グレゴール
28日(土)	花咲く港	日・1943年	木 下 恵 介	小沢栄太郎、上原謙、水戸光子、村瀬幸子
10月5日(土)	野いちご	端・1957年	I. ベルイマン	ヴィクトル・シェストレム、ビビ・アンデルセン
12日(土)	土	日・1939年	内 田 吐 夢	小杉勇、風見章子、山本嘉一、村田知栄子
19日(土)	尼僧ヨアンナ	波・1960年	J. カワレロウイッチ	ルツィーナ・ヴィンニツカ、ミエチスワフ・ウォイト
26日(土)	五番町夕霧櫻	日・1963年	田 坂 具 隆	佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代

東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 TEL (561) 0823

* 竹橋本館 9月1日まで「15人の写真家」展

9月14日～11月3日まで「現代メキシコ美術展」